

## 「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

### 1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先を通じてその先の取引先に働きかける（「Tier N」から「Tier N+1」へ）ことにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。その際、災害時等の事業継続や働き方改革の観点から、取引先のテレワーク導入やBCP（事業継続計画）策定の助言等の支援も進めます。

（個別項目）

- a. 同業で組織する酒造組合、県の杜氏会および行政などと連携し、酒造りの技術向上および業界全体の底上げ、盛り上げをはかる。
- b. バックオフィスではリモートミーティングツールの導入・活用し、取引先との業務効率化、省力化をはかる。  
ミーティングにおいて、モニタやプロジェクタを活用し、ペーパーレスを推進する。  
生産現場では、データベースを活用した在庫予測システム導入、ITを活用した計画作成補助ツール、桶帳一括管理システム、リモート状態管理システムなどを活用し、省力化および数量管理の精度を向上することで、関係者との手戻りを防ぎ全体効率の向上をめざす。
- d. ソーラーパネルを工場屋根に敷き詰めることで、遮熱効果による工場の冷却電力の低減、生産ラインの自家消費割合 UP による低炭素化をはかる  
また、流通業者と協力し、瓶やP箱のリユース・リサイクルを継続して進めていく。
- e. 健康年齢を向上させる取り組みとして、朝礼で5回程度のスクワットを実施する

### 2. 「振興基準」の遵守

親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行（下請中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。

#### ① 価格決定方法

不合理な原価低減要請を行いません。取引対価の決定に当たっては、下請事業者と少なくとも年に1回以上の協議を行うとともに、請事業者の適正な利益を含み、下請事業者における労働条件の改善が可能となるよう、十分に協議します。その際、「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」に掲げられた行動を適切にとった上で決定します。また、原材料費やエネルギーコストの高騰があった場合には、適切なコスト増加分の全額転嫁を目指します。なお、取引対価の決定を含め契約に当たっては、契約条件の書面等による明示・交付を行います。

## ②手形などの支払条件

下請代金は可能な限り現金で支払います。手形等で支払う場合には、割引料等を下請事業者の負担とせず、また、支払サイトを 60 日以内とします。

## ③知的財産・ノウハウ

「知的財産取引に関するガイドライン」に掲げられている「基本的な考え方」や、「契約書ひな形」を踏まえて取引を行い、片務的な秘密保持契約の締結、取引上の立場を利用したノウハウの開示や知的財産権の無償譲渡などは求めません。

## ④働き方改革等に伴うしわ寄せ

取引先も働き方改革に対応できるよう、下請事業者に対して、適正なコスト負担を伴わない短納期発注や急な仕様変更を行いません。災害時等においては、下請事業者に取引上一方的な負担を押し付けないように、また、事業再開時等には、できる限り取引関係の継続等に配慮します。

## 3. その他（任意記載）

約束手形の利用の廃止に向けて、大企業間取引も含め、現金払いや電子記録債権への移行に取り組めます。

持続可能な企業運営、地域社会の実現のために、SDGs の振興、推進に取り組み、その活動内容を HP など公表します。

2025 年 4 月 11 日

東北銘醸株式会社

企 業 名

代表取締役 佐藤 雅士

役職・氏名（代表権を有する者）

（備考）

- ・本宣言は、（公財）全国中小企業振興機関協会が運営するポータルサイトに掲載されます。
- ・主務大臣から「振興基準」に基づき指導又は助言が行われた場合など、本宣言が履行されていないと認められる場合には、本宣言の掲載が取りやめになることがあります。